



1 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2 年間計画

| 月 | 教科書 | 学習項目 |
|----|--|---|
| 4 | Review Lesson Lesson 1-1,2 | 1年生の復習 福祉、動物:介助犬(SVOO「...に~をあげる」等) |
| 5 | Lesson 1-3 Lesson 2 | (that節「私は...だと思う」等) 自然科学、環境:エネルギー問題 (接続詞「もし~なら、...」「~しているとき...」/ 過去進行形「~しているところだった。」等) |
| 6 | Lesson 3 Project 1 Reading 1 | 社会、科学技術:ユニバーサルデザイン (不定詞「~したい。」「~するために...する。」動名詞) 解決すべき問題に対し自分たちにできる取組を考える 説明文を読み概要を理解する |
| 7 | Reading 1 Lesson 4 | 英語暗唱の取り組み 職業、社会:職場体験(不定詞「~するための時間」動名詞 「~することは...だ。」等 / SVOO=that節) |
| 8 | Lesson 5 | 外国の文化:ハロウィーン (不定詞「~の仕方」It ~ to do) |
| 9 | Lesson 6 | 日本と外国の地理・文化:さまざまな名所 (ものごとを比較する文(比較・最上級「~より...である。」「最も~である。」「同じくらい~である。」など) |
| 10 | Lesson 7 Project 2 | 社会、福祉:さまざまな慈善活動 (受け身の文「~される」「~された。」) 行ってみたい名所を紹介する |
| 11 | Reading 2 Lesson 8 | 伝記を読み、主なできごとを整理する 日本の伝統文化(間接疑問文「いつ(どこ、何)か知っていますか。」 / SVO to do「~に...するよう頼む」など) |
| 12 | Lesson 9-1,2 | コミュニケーション:ジェスチャーや手話 (SVO C「~を...にする。」) |
| 1 | Lesson 9-3 | (SVO+原形不定詞「~させてください。」「~を...することを手伝う」など) |
| 2 | Project 3 Reading 3 | 日本の文化を紹介 主なできごとをとらえ、登場人物の気持ちをとらえる |
| 3 | 1年間の学習のまとめ | |

3 評価の観点（目標）と方法

【知識・技能】

- ・単語、熟語、文の決まり（文法）を理解しているか、など

【思考・判断・表現の能力】

- ・英語で情報や考えなどを表現し、伝え合う力
- ・話題にあった表現を英語でするなどのコミュニケーション力
- ・話されたり読んだ英語から情報を理解するなどのコミュニケーション力

【主体的に学習に向かう態度】

- ・その時間の課題に自分から積極的に取り組もうとしているか、など
- ・英語で伝えるために、わからないところを質問したり、学習を振り返ったり、仲間と協力して課題を解決できる、など

上記3つの観点について、「話すこと（やりとり・発表）」「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の活動を通して評価を行います。

定期テスト（筆記＋リスニング）

年4回（前期中間・前期期末・後期中間・後期期末）

単元テスト

Lesson毎に行い、単元毎（1ヶ月に1回）の定着を確認します。

単語テスト

5問テストなど必要に応じて行います。

ノート・ファイル、宿題、ワーク点検

家庭学習ノートやプリントの提出確認、ノートやワーク点検をします。

英会話、パフォーマンステスト（読む、質問に答える、発表するなど）英語暗唱

会話する、英文を読む、ポスターやチラシなどから必要な情報を読み取るなどの実技のテストです。

4 学習の進め方（確認）

【授業準備】

- ・毎時間必要なものは、教科書、ノート、ファイル、ワーク chromebook の5つです。授業開始前にすべてあるか確認しましょう。

【授業予習編】

- ・デジタル教科書で単語の発音の仕方を確認する。
- ・デジタル教科書で意味を確認し、new words の横に意味を書いておく

【授業中編】

- ・「聞く」「話す」ことが中心です。授業でしかできないこともあります。

【ワーク】

- ・基本的には、授業中に使用します。授業後には、既習内容について家庭学習として取り組んでください。また、定期テストや単元テスト対策としても活用しましょう。

5 家庭学習のアドバイス

教科書では新しいページに1つ新しい表現が出てきます。その1つの表現で色々なことを言えるよう動詞を変える、時間や場所をつけ加えて詳しく言うなど練習しましょう。

例) Will you play video games? Will you eat dinner at 7:00 tonight?

授業で言えたことを、忘れないようにワーク、キュビナなどを使って復習しましょう。

言えたことを正確に書けるよう、単語テストやチェックシートの学習を続けるようにしましょう。